

*FirstGlobal* メッセージ

# siesta

2019.1月号 vol.187

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email [shinagawa@1gc.jp](mailto:shinagawa@1gc.jp)

URL <http://www.1gc.jp>

## 今月のトピックス

### 飲みニケーションの新常識

今年も早いもので、あと1ヵ月となりました。本当に早いですね。今回は雑誌の「AERA」などで取り上げられていた、いわゆる「飲みニケーション」が企業の人事マネジメントの手法として見直されているという記事についてです。ご存知のように、以前は職場外でも上司部下、同僚などと宴席を設けて、コミュニケーションを図る、ということが多々ありました。今でも覚えているのは、小生が銀行時代、異動で来た、新しい上司となった課長が着任してから1週間、文字通り毎晩、課員全員が支店の前のリーズナブルな中華料理店へ連れていかれました。その後ご本人に真意は聞いたことはないのですが、やはり「コミュニケーション」「人心掌握」の一環としてのことだったと推察されます。しかしご存知のように、現在は若者の酒離れ、職場の人との職場以外での付き合いを嫌う傾向などから、飲みニケーションの機会は減少しましたが、脳科学者の池谷裕二氏らの研究結果では、アルコールには共感を強め、一体感を持ちやすくなる作用があるとのこと。日本航空再建を支えた、あの稲盛さんは頻繁に社内で「コンパ」と称する飲み会を開き、心を通じ合う関係を大切に「コンパ経営」を推進していました。また、稲盛さん自ら締め雑炊作りをやっていたとのこと。ぐるなびのインターネット調査によると、忘年会が好きか?という質問に対して、年代別では20歳代が70%、と最も高かったとのこと。ちなみにそれに続くのは60歳代でした。好きな理由として、20歳代は「にぎやかな雰囲気が好き」で、60歳代は「結束力を高める」です。このあたりのギャップも飲み会開催の難しさにつながっているのでしょうか。ただ、やはり最も気をつけなければならないのが、酒席での「セクハラ」「パワハラ」でしょう。飲み会の効果を謳っても、一発で身を滅ぼす恐れもあります。これからまさに忘年会シーズン、「平成最後の忘年会」と称して、盛り上がる機会も多いかと思います。「無礼講」は「無礼でよい」という意味ではありません。くれぐれもルールとマナー遵守にはお気をつけて。

## < next >

大阪マラソンに出場し、ブラマヨの小杉さんやジミー大西さんを横目に見ながら、なんとか完走できました。応援いただき、ありがとうございました。一昨年よりはマシなタイムでしたが、終盤に失速し、目標には及びませんでした。3月の本命の篠山に向けて早よ準備始めます。